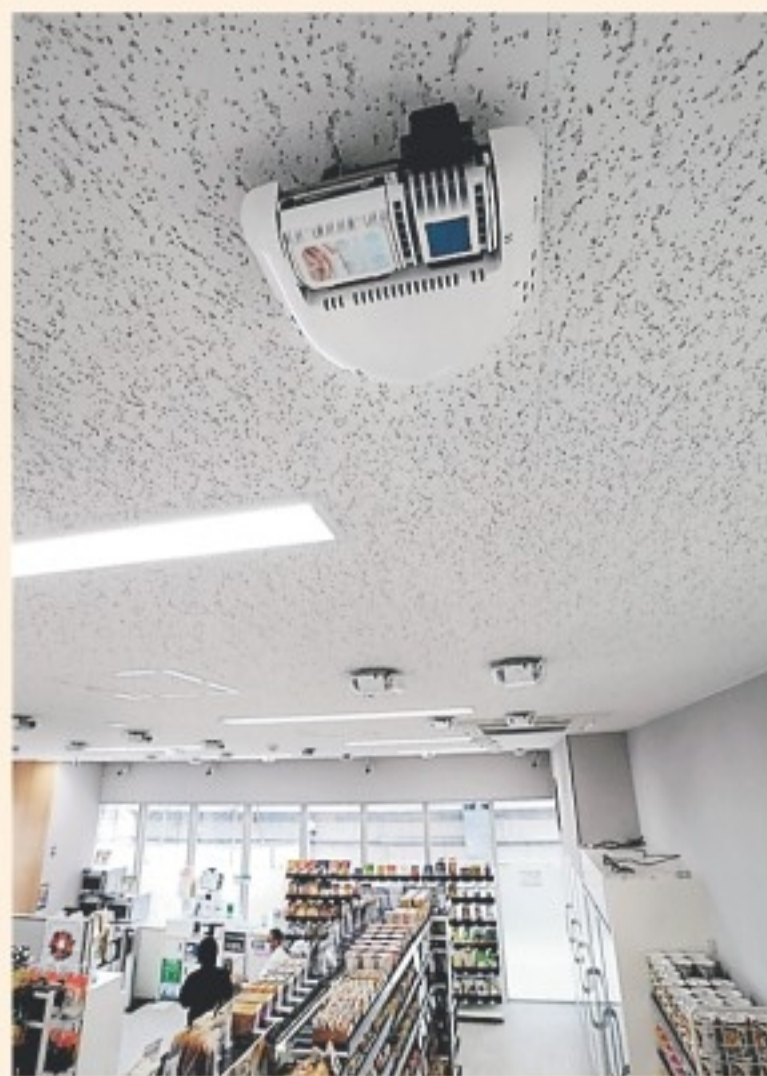


やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、伊丹市役所の新庁舎にオープンした珍しいコンビニのお話です。どんなコンビニなのでしょう。



①無人決済システムを導入した伊丹市役所内のファミリーマート
②利用客の動きを認識する「A1センサー」
=いずれも伊丹市千僧1 (撮影・斎藤雅志)

棚で重量チェック→レジに金額表示

11月23日の朝刊にのった記事を基に作成

全国的な公共施設で初となる無人決済システム導入のコンビニ店が、11月28日開業の伊丹市役所新庁舎(伊丹市千僧1)にオープンした。オープン前、一足先に体験入店させてもらうと、缶コーヒーを棚から取って無人のレジに立つだけで「140円」と画面に表示された。これってどういう仕組み? コンビニは庁舎南西側の1階にあり、来庁者がくつろげる多目的スペースの隣にある。入店ゲートに近づくと自動で開き、弁当や日用品、お菓子など約1700品目が棚に並んでいる。「センサーが人と商品の流れを追いかけます」とファミリーマートの担当者が説明する。天井には火災報知機を大ぶりにしたような「AIセンサー」が35機も貼りつき、客の動きや商品の出入れを認識する。さらに商品棚には重さを感じする「重量センサー」が取り付けられ、商品を抜くと買い物にカウントされ、元の場所に戻せばキャンセルされる。だから、レジでの精算時は商品をかばんに入れたままでも問題ない。支払いは、有人コンビニと同じく現金や電子マネーを選べる。出口ゲートはレジの先であり、買い物が終われば、レジ画面にある退店ボタンを押して出る。親子連れなどはセンサーが「集団」として認識するため、1人が支払えば他の人はそのまま通過できるという。最初は戸惑ったが、慣れると確かに便利だ。担当者は「防犯面や精算誤りへの懸念も少ない」と話し、細見研介社長は力を込めた。「コンビニは社会インフラとしての役割を担っている。自治体と連携を深め、人手不足の解消に向けた挑戦を進めていきたい」(久保田麻依子)

伊丹市役所新庁舎に無人コンビニ センサーが商品追跡

①無人コンビニをオープンさせた理由は何ですか。社長の言葉から理由を探して、空欄を埋めましょう

の解消

②どういう仕組みで、店員さんがいなくても買い物ができるのでしょうか。空欄を埋めましょう

・天井に貼りついた 機の「」が や を認識する

・商品棚に「」が取り付けられ、 を抜くと にカウントされる

・レジでの精算時は、店員さんのいる有人コンビニと同じく や を選べる

③社長が言う「コンビニは社会インフラ」とはどういう意味でしょうか。「社会インフラ」でキーワード検索してみましょう

④あなたは有人コンビニと無人コンビニのどちらを利用したいですか。理由も書きましょう

答えは25日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて12月24日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

11日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①原材料価格の高騰や円安
- ②20度
- ③<エアコン> ○
- <冷蔵庫> ×
- <買い物> ×
- ④⑤自由記述